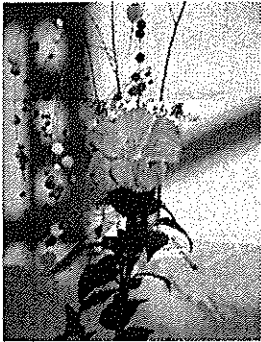


迎春

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

2021 年元旦 姫路科学館友の会 会長 上田 倫範
役員 事務局 一同



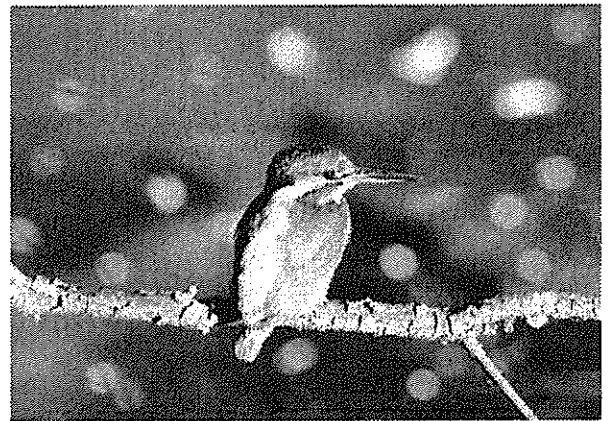
新春を迎え、皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ミュージアムショップの運営等にご支援ご協力いただきありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

また、友の会会員は 2020 年 12 月現在で、123 名となりました。コロナ禍ですが、大勢の方にご入会いただき、本当にありがとうございました。

さて、新春の友の会の事業は、おめでたい植物やお正月の植物を展示する「新春植物展」から始まります。今年もエントランスホールでの展示です。多くの皆様のご来館をお待ちしております。(友の会会長 上田倫範)

館長の科学館だより

姫路科学館周辺の紅葉が終わりを迎え、多くの木々が葉を落としよいよ“冬”到来です。朝晩の冷え込みが厳しくなりましたが、皆様方元氣にお過ごしでしょうか。唐突ですが“翡翠”をご存じでしょうか？ヒスイと読みますが、頭に思い浮かぶのは深緑の宝石でしょうか？中国では、他の宝石よりも価値が高いとされ古くから装飾品や器、彫刻をほどこした置物などに利用されてきました。日本では、山梨県や新潟県で多く見つかっており、5月の誕生石としてエメラルドとともに数えられています。今回、お話をさせていただくのは写真の“カワセミ”



【コバルトブルーの美しいカワセミ】

で、漢字をあてると翡翠とあらわされます。全長は 17 cm ですが、くちばしが長い体そのものの大きさはスズメと変わらないくらいで、コバルトブルーの美しさをもつ小鳥です。黒くて長いくちばしを持ち、雌は下部分が赤くなっています。写真では見えにくいのですが(白黒印刷で申し訳ございません)胸やお腹はオレンジ色をしています。英語で“King fisher”(キングフィッシャー)と呼ばれるほどの魚とりの名人でもあります。水辺の枝や杭に止まり狙いを定めて豪快に、時にはホバリング飛行から一気に頭から水中に飛び込んで魚を捕らえ、その後、魚を周囲の岩や枝に叩きつけたりして食べていきます。体のつくりは飛び込みに都合がよいようになっていて、瞬膜(しゅんまく)と呼ばれる半透明の膜を使い人が水中でゴーグルを使って目を守るような仕組みを持っています。また、長いくちばしは飛び込んだときの衝撃を少なくするようになっていて、500 系新幹線の先頭車両にその形が模倣されています。(生物を模倣して科学に活用することを“生物模倣”や“バイオミミクリーと”呼んでいます)繁殖期には、雄から雌へ魚をプレゼン